



国際ロータリー第 2650 地区学友会
ロータリーフェローズ 2650 2020-21 年度総会

プログラム

- 2021 年 6 月 20 日 (日)
- 国際ロータリー第 2650 地区ガバナー事務所会議室より中継

司会 米谷 唯

- 10:00 開会
ロータリー地区役員紹介
ガバナーごあいさつ
フェローズ会長挨拶
ガバナーエレクトごあいさつ
- 10:20 総会
2020-21 年度活動報告・幹事会紹介
2021-22 年度会長選出
ロータリー担当地区委員会より
- 10:35 基調講演
ロータリー財団グローバル補助金奨学生 山下 哲史
- 10:55 トークセッション「コロナ禍とロータリー学友」
コーディネーター
ロータリーフェローズ 2650 会長 堀 さやか
パネリスト
ロータリー財団グローバル補助金奨学生 山下 哲史
青少年交換学友会 副会長 櫻 萌々乃
米山学友会 会長 カレン・ジュリア・ウォーターズ
- 11:15 閉会



世界で良いことをしよう (Doing good in the world) を標語に、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることが使命であり、より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。

1917年6月にアーチ・C・クランプが提案した「世界でよいことをするための」基金が、今日では全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展しました。

ロータリー財団のグローバル補助金は、世界で求められている人道的ニーズや課題を反映した7つの重点分野のいずれかに関連し、長期的に大きな成果が期待できる、大規模で国際的な活動を支えるものです。第2650地区のグローバル補奨学金は、重点分野の研究のための、海外の大学院または同等の研究機関での1~2年間の留学を支援します。



1952年に、東京ロータリークラブが日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して設立した奨学制度は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援しています。将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

ロータリー米山奨学生は、それぞれお世話されるロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

Interact

インターアクトクラブは、12~18歳までの青少年、ロータリークラブが提唱する中学・高校に在学中の生徒が入会できます。Interact という名は「国際的活動」International Actionを意味します。地区行事としては、夏期研修、一年間の活動発表を行うインターアクト地区大会などがあります。また、各クラブでは、学校や地域社会のための活動と、国際理解をめざす活動を行い、社会に役立つ活動に参加するだけでなく、同年代の参加者同士で交流を深めることができます。

Rotaract

ローターアクトクラブは、18歳以上の人びとが集まり、「奉仕を通じて親睦を」を標語に、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行っています。Rotaractの名称は、RotaryとActionに由来します。世界200の国と地域に9,892クラブがあり、222,711人のローターアクト会員が、当地区には26クラブがあり200人のメンバーが活動しています。

Rotary | rotary youth leadership awards

RYLA (ライラ) は14歳から30歳までの青少年を対象とする研修プログラムです。当地区では、セミナー形式で指導者となりうる20代の男女を対象とし、1980年から毎年続けて開催しています。選ばれてRYLAに参加するには、地域社会の中であって、将来その地域の指導者となる資質を持ち、社会の発展に貢献しようとする志向を持った人達です。将来を担っていく若い人々に、仲間と共に学び、自ら考え、問題解決の道を探る訓練の場を提供するものです。参加者は与えられたものを吸収するだけでなく、自ら行動し、このセミナーに参加し、学び、体験したことを他に及ぼし、何かに寄与するという意識を持つように期待されています。

Rotary | rotary youth exchange

ロータリー青少年交換は高校生のための海外地区との交換留学プログラム。派遣先のホストクラブにお世話になり、小さな親善大使として活動します。ロータリー青少年交換事業の歴史は古く、当地区では、1971~72年にアメリカとの交換学生2名から始まり、それ以来50有余年にわたり将来を担う国際人を育てることを目的に、北米、南米、ヨーロッパ、オセアニア、アフリカ地域との青少年交換事業を実施し、大きな成果をあげてきました。海外から当地区への「受入学生」、日本から海外の地区への「派遣学生」、次年度派遣の「派遣予定学生」が参加し、派遣学生が帰国すると「帰国学生」そして、「ROTEX」として地区委員会とともに後輩の指導やサポートにあたります。

プログラム修了後

